

海外ルーツの子ども支援

言葉・文化・制度を超えて共生へ

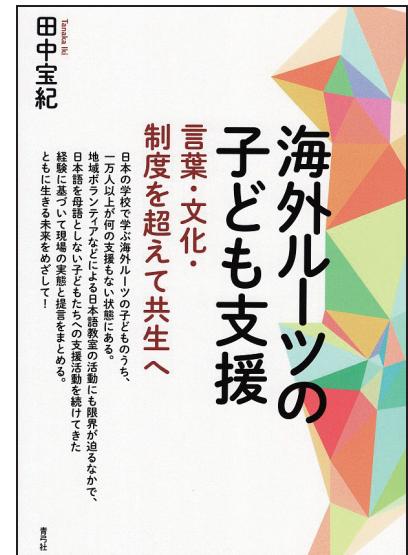
本体価格6,600円(同時アクセス1)／2021年5月25日発売(紙版)

ISBN978-4-7872-3488-9／ProductID:KP00046717

日本で生活している海外ルーツの子ども10万人のうち、日本語が分からぬ子どもは5万人もいます。そのうち1万人は、日本語の教育を受けられていない無支援状態にあります。

来日する外国人が増えている状況にもかかわらず、外国人家庭へのフォローはまだまだ整備されていません。子どもたちにとって、日本語の習熟度の遅れは勉強の遅れにつながり、一方では、肌の色の違いなどが孤立やいじめの原因になることも少なくありません。

日本に住んでいる外国人やその子どもたちは、社会に必要な「人材」であり、ともに生きていく仲間です。現状を把握して、今後を考えるための提言をまとめました。



多様性との対話

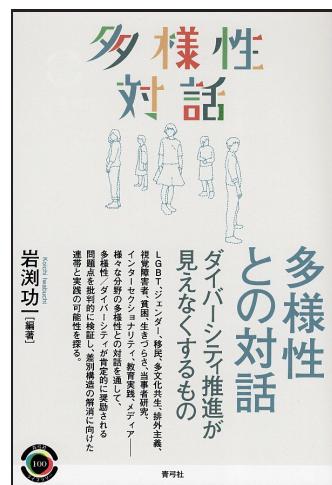
ダイバーシティ推進が見えなくなるもの

本体価格5,280円(同時アクセス1)

2021年3月26日発売(紙版)

ISBN978-4-7872-3483-4/ProductID:KP00045055

企業、政府、地方自治体、教育機関などで多様性やダイバーシティを奨励する動きが活発化しています。メディアや街中でも「多様性」「SDGs」「ダイバーシティ」などの文字を見ることが増えました。LGBT、在日外国人、多文化共生、障害者、貧困問題、生きづらさ、教育実践など、様々な分野での多様性を推進する実践を紹介、検証して、より良いダイバーシティ社会への可能性を探ります。



「テレビは見ない」というけれど

エンタメコンテンツを
フェミニズム・ジェンダーから読む

本体価格5,940円(同時アクセス1)

2021年4月23日発売(紙版)

ISBN978-4-7872-3486-5/ProductID:KP00046715

10代～20代の約半数がテレビを見ないと言われている。昨今、テレビのどこがダメで、どこが面白いのかを、いま大きな注目を集めるフェミニズム・ジェンダーの視点から読み解きます。最新のドラマやワイドショー、「お笑い第7世代」などに、様々なジャンルで活躍する書き手たちが斬り込みます。

